

履歴 杉本健三

2003, 6

(大阪大学, 東京大学, 高エネルギー加速器研究機構・名誉教授)

- 1923, 6, 23: 生誕、大阪市北区神山町 64 番地
- 1930, 4 済美第三尋常小学校, 入学, '35, 4; 茨木市春日小学校, 5 年級に編入
- '37, 4 大阪府立茨木中学校, 入学
- 1941, 4 佐賀高等学校, 入学 —12 月, 太平洋戦争勃発—
- '43, 9 大阪帝国大学理学部物理学科、入学
(強制疎開により茨木市春日村大字下穂積 40 に転居) — '45 年 8 月, 終戦—
- '46, 9 理学士, ('47~'50; 大阪大学大学院特別研究生)
- 1951, 4 大阪大学理学部助手
- '53~'55 ベルト起電機型加速装置の改造, 2.7MeV 陽子線加速の達成
- '55, 8 大阪大学理学部講師
- '56 原子核 F 19 第 2 励起準位の磁気モーメント μ の測定
- '58 理学博士, 8 月; 大阪大学理学部助教授 (3 月; 竹馬清子と結婚)
- '58~'60 MIT (1958 年 Sloan Fellowship)
- '58, 12 仁科記念賞 (原子核励起状態の電磁気モーメントの研究) 受賞
—1961 年 9 月, 室戸台風, 実験室浸水—
- 1964 原子核 F 19 第 2 励起準位の電気 4 重極モーメント Q の測定
- '64 大阪大学理学部教授
- '65 ベータ放射性核 F 17 の磁気モーメント μ の測定 (核反応での β NMR の開発)
- '65~'66 4MV VdG 加速器施設, 豊中キャンパスに設置
- '68, 5~9 CRN Strasbourg (Visiting Professor) — '68~'69 年, 大学紛争—
- '69 鏡核・磁気モーメントの分布 (μ と β 崩壊 f 値よりの解析)
- 1972, 9 “Internat. Conf. on Nuclear Moments and Nuclear Structure”, Osaka の主催
- '73 Proceedings、核モーメントと核構造、杉本・堀江共編 (日本物理学会出版)
- '75, 3 東レイ科学技術賞受賞
- '77 重イオン反応・入射核破砕片のスピン偏極現象の観測
原子核ベータ崩壊における弱相互作用 G パリティ非保存の検証
- '78, 10 東京大学原子核研究所教授 (Numatron 計画の推進)
- '78, 12~'83, 4 東京大学原子核研究所・所長併任
- 1983, 6~9 Tech. Univ. Muenchen (Gastprofessor)
- '84, 4 東京大学停年退官
- '84, 9~'85, 3 LBL, UC Berkeley (Special Staff Scientist)
- '85, 11~12 Weismann Institute of Science (Visiting Scientist)
- '85 He_{3,4,6 & 8} の核半径の計測 (Exotic Nuclear Beam による実験の開拓)
“Nuclei, the Playing Fields of Physics”, Festschrift, *Hyperfine Int.*,
世界流通の journal Vol.21 (満 60 歳記念出版)
- '86~'90 Consultant, LBL, UC Berkeley
- '88 大學生教科書 (原子核物理学 杉本・村岡共著) 共立出版社